

仕切り直しの 2 月課題お送りします。

山口@製図試験 com です。自己分析課題 2020 はैया！っで作ったのでかなり難しい問題となってしまいました。本試験ではあのレベルは出題されていませんし、傾向も若干異なります。難しすぎて解けない方も多かったのではないかと思います。

そこで仕切り直しの 2 月課題を作成しました。

<http://urx.red/Xpxy> からダウンロード可能です。

この課題は平易ですが、ひとつ間違えても不合格にしようとしています。どのラインで合否ラインを引くかを考えつつ解いてください。

またその際、エスキースもお送りくださいね。

現時点でのお手元資料には、

- ・ステップで攻略するエスキース(各自購入)
- ・2019 年度 1208 版課題セット(ダウンロード)
- ・自己分析課題 2020(解答・解題は A3 のみ)

があるはず、です。3 課題いや、全ての課題は同じように 13 ステップで解くことができます。できますが、それぞれちょっとずつ別のノウハウも入っています。それらを駆使しつつ、この 2 月課題に挑戦してください。

時間はいくら掛けてもよいので、きちんとステップを踏むこと、その意味を理解しつつ進めることが重要です。そのためには、上記資料をご活用ください。つまりできるだけ真似てみるということです。習うより慣れろ、考える前に型から入る、そういう方法に近いです。

もちろん理解の上、やっていただくことがベストです。

め切りは 2 月 17 日月曜日ですが、それをひとつの目安にしていただければよいでしょう。わからないことは何でもご質問ください。そのために BAND をご利用いただければと思います。

2020 年 2 月吉日

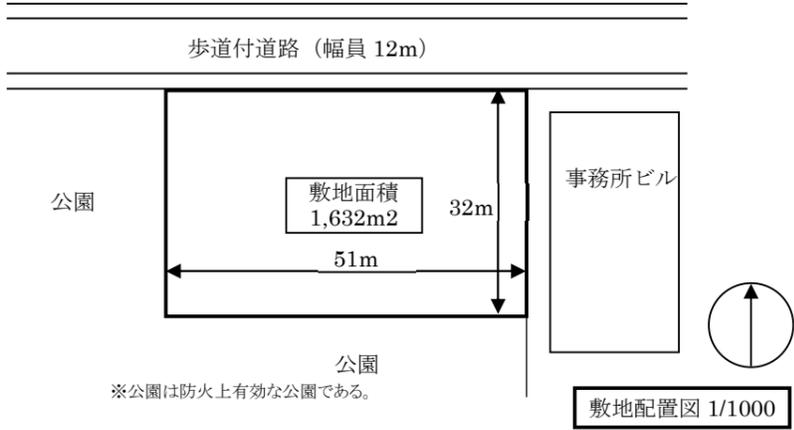
製図試験 com 代表 山口 達也

I. 設計条件

この課題は、2020 年度製図試験受験生の自己分析を行うために、ある地方都市において、地域住民に望まれているコンセプトルームのあるコミュニティセンターを計画するものである。敷地は公園の一角を予定しており、公園の景観や空間を活かした施設計画とすることに加えて、バリアフリー法の円滑化基準に適合することが求められている。

1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- 敷地は平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。歩道の切り開きは、1 箇所当たり 6m までできるものとする。
- 敷地は、第二種住居地域及び防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は 60%、容積率の限度は 200% である。
- 地盤は良好で杭打ちの必要はなく、日影及び積雪の配慮はしなくてよい。



2. 建築物

- 構造、階数等
地上 3 階建ての建物とし、構造形式は自由とする。
- 床面積の合計
床面積の合計は、1,800m² 以上、2,200m² 以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ(駐車場や集会等の用途が発生する部分を除く)、塔屋、バルコニー、屋外階段は、床面積に算入しないものとする。
- 要求室
下表の室は、すべて計画する。

部門	主要な要求室は公園との関係性に配慮する。	室名	特記事項	床面積
学習交流部門	図書室	・閲覧スペース(開架式書庫、テーブル・イス、キャレール)、ブラウジングコーナー、貸出カウンター、書庫、BDS 等を設ける。	150m ² 以上	
	子供図書室	・閲覧スペース、貸し出しカウンター等を設ける。 ・図書室業務との関係性に配慮した動線とする。	約 80m ²	
	工作室	・1mx3m 作業台を 4 台及び準備室を設ける。	適宜	
	音楽室	・防音設備を整え、前室を設け 2 重扉とする。 ・準備室を設ける。	約 80m ²	
	講師準備室	・工作室、音楽室、アトリエ用として設ける。	約 15m ²	
	アトリエ	・作業台、イス、流し台、倉庫、加工室を設ける。	120m ² 以上	
	多目的室	・2 室分割で利用できるよう可動間仕切りを設ける。 ・天井高さを 5.5m とする。 ・専用の「空調機械室」を設ける	200m ² 以上 適宜	
	ホワイエ	・多目的室の客だまり利用できるようにする。	適宜	
	市民ギャラリー	・市民の絵画や彫刻を展示する場所とする。 ・3 室分割で利用できるよう可動間仕切りを設ける。	200m ² 以上	
	カフェ	・テーブル、椅子、カウンター、厨房等を設ける。 ・デッキスペースに直接アクセスできるものとする。	100m ² 以上	
共用部門/他	エントランスホール	・風除室を設ける。 ・バギー置場を設ける。	80m ² 以上	
	吹抜け	・短辺/長辺を 1/2 以上の整形(開口面積は 45m ² 以上)とし、3 層の吹抜けとする。 ・トップライトを設ける。 ・風除室上部は含まないものとする。	-	
	事務管理室	・エントランスホールに面して案内カウンターを設ける。 ・6 人程度の事務スペース及び応接コーナー、休憩更衣室等を設ける。	適宜	
	ゴミ保管庫	・屋内に設ける。	適宜	
	コンセプトルーム	・地域住民のニーズを想定し、それをコンセプトとする室を設ける。 ・エントランスホールとの関係性に配慮する。	100 m ² 以上	
	ポンプ室	・階段下は使わないものとする。	約 15m ²	
	便所	・各階に男性用、女性用及び多機能トイレ(車いす使用者、オストメイト等に配慮した便所)を設ける。		
	設備スペース	・その他、各自が採用した設備計画に応じて、室外機置場等を計画する。	適宜	
・上記の室に関連して必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。				

3. その他の施設等

- 駐車場は平面駐車とし、車いす使用者用として 2 台分、管理・サービス用として 3 台分を設ける。その他は公園内にある駐車場を利用する。
- 駐輪場は、平面駐輪とし、25 台分以上(2.0mx0.5m)を設ける。
- カフェから出入りできるデッキスペース(80m² 以上)を設ける。
- 公園からも出入りできる広場(面積適宜)を地上に設ける。
- アトリエのみ出入りできる屋上庭園(60m² 以上)を設ける。

4. 計画に当たっての留意事項

- 建築計画、構造計画及び設備計画については、次の点に留意して計画する。
- 建築物はバリアフリー、セキュリティ、省エネルギー、景観に配慮する。
 - 利用者の当該敷地へのアプローチは、公園及び駐車場からの動線に配慮する。また各部門は利用形態に応じて適切に計画する。
 - 敷地条件(方位等)や周辺環境に配慮するとともに、空調負荷の抑制や自然光の利用、日射遮蔽及び通風等を用いて、建築環境負荷低減に配慮する。
 - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに経済性にも配慮する。
 - 構造種別、架構形式、スパン割及び基礎構造について適切に計画すると共に、適切な断面寸法の部材を配置する。
 - 設備機器の搬出入及び更新に配慮した計画とする。空気調和設備には空冷ヒートポンプ方式を、給水設備には受水槽方式を採用する。
 - 建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分には、所定の防火設備を適切に計画する。また、防火区画(面積区画・堅穴区画)が必要な部分には、所定の防火設備を用いて適切に区画する。なお、本建築物は、自動式のスプリンクラー設備等を設けないものとし、また「避難上の安全の検証」を行わないものとする。
 - 地上に通ずる 2 以上の直通階段を適切に計画する。また、必要に応じて、「敷地内の避難上必要な通路」を適切に計画する。

II. 要求図書

答案用紙 I の定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙 I に記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい)、必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1)1 階平面図兼配置図 1/200	① 1 階平面図兼配置図、2 階平面図及び 3 階平面図に、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ.室名等 ハ.設備シャフト[パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)]の位置
(2)2 階平面図 1/200	ニ.設備計画に応じた設備スペース(ただし、屋上に設けた場合は断面図に図示する。)
(3)3 階平面図 1/200	ホ.断面図の切断位置 ヘ.要求室の床面積 ト.広場・デッキスペース・屋上庭園(面積を明示する。)
(3)断面図 1/200	② 1 階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の出入口・公園への出入口 ロ.駐車場(台数及び出入口を明示する。) ハ.駐輪場(台数を明示する。) ニ.通路、植栽等 ③ 2 階平面図及び 3 階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ.下階の屋根、ひさし等となる部分 ロ.居室の最も遠い位置から 2 の直通階段に至る歩行経路、その一に至る歩行距離及び重複区間の長さ ④ 切断位置は、エントランスホールを含み、建築物の全体の立体構成がわかる断面とする。なお、基礎部分を除き、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 ③ 建築物の高さ、階高、天井高、1 階床高及び主要な室名を記入する。 ④ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。

2. 面積表(答案用紙 I に記入)

- 地上 1~3 階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。また建ぺい率及びその計算式についても記入する。

3. 計画の要点等(答案用紙 II に記入)

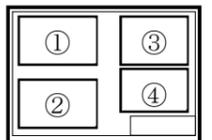
建築計画、構造計画、設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

- 周辺環境に対して配慮した点
- 建築物の配置計画について配慮した点
- バリアフリー法円滑化誘導基準として視覚障害者のために配慮したこと
- 建築環境負荷低減をするために工夫した点(3 点とし、図示を必須とする)
- コンセプトルームの計画にあたり、設定した地域住民のニーズと対応した計画内容
- 建築物に採用した構造種別、架構形式、スパン割等を採用した理由及び主要な部材寸法
- 採用した空調方式及び採用した理由(エントランスホール・多目的室・厨房)
- 多目的室で採用した照明とその理由

4. 図面レイアウト(本試験では解答用紙 I に記載)

- ①配置図兼 1 階平面図 ②2 階平面図 ③3 階平面図

- ④断面図・面積表



■添削について

受講生・添削希望者は、図面、要点、エスキース・分析表を同封して下記住所までお送り下さい。PDF での送付も受け付けます。切は 2 月 17 日消印有効。遅れても必ず添削しますが、ペー配分の目標としてください。添削は約 1 週間程度でご返却します。
〒554-0012 大阪市此花区西九条 2-7-8-3F 製図試験.com 事務局
送付前に図面は必ずコピーを取ったのち、その原本を 4 つ折りして角 2 号封筒を使用してください。速達、書留、宅急便にする必要はありません。



時間チェックリスト：毎回経過時間を入れてください。

STEP	目標時間	経過目標	備考
E0	年度条件	0	間口・スパン+敷地+接続
E1	I.設計条件	1	具体的なコンセプトのイメージ
E1	4.計画に当たっての留意事項	2	具体的な記述を確認
E1	3.計画の要点	3	図面に反映しそうな点を確認
E2	II.要求図書	4	いつもと違う記述があれば確認
E3	1.敷地及び周辺条件	6	建ぺい率、用途地域、基礎他
	アプローチ(仮)	8	M/Sのアプローチ(仮) 想定
E4	敷地の向き	11	◎×△の想定
	2.建築物	12	階数、目標床面積の設定
E4	積上図(1)	13	24コマもしくは1階最大と総3階建
E5	3.屋外施設等	16	全外構の大きさ図示
E6	最大建築面積	20	外構が納められる広場含み最大面積
E7	(3)要求室	23	全体俯瞰+適宜面積計算
	全室リスト	40	高さ・動線・部門含み面積計算
	廊下率	41	1.4~1.6+補正が必要かどうか
	部門廊下含み面積	43	クロス計算+ネット計算
E8	高さ情報	45	読み間違いはないか
	動線図	50	思い込み・読み間違いはないか確認
E8	積上図(2)	51	積上図(1)よりも解答に近づくこと
E9	ポイントアップ	53	不明・新出・判断迷う点
	プラン方針	55	ポイントアップから方向性方針決定
E10	ゾーニング	65	部門ボリューム・建築物外形・面積概算
E11	コアゾーニング	70	コア位置・建築物外形・スケルトンイメージ
E12	コマプランニング	85	室忘れ・面積間違いはないか
E13	問題文・エスキース最終確認	95	問題文とエスキースの最終確認
E14	1/400エスキース	135	A4版1/400で一旦まとめる
Y1	計画の要点	145	キーワード+網羅+文章化
D0	重要記載事項・面積表	155	面積表は確定分だけでも描く
D1	基準線・寸法	165	基準線及び寸法を固める
D2	平面図スケルトン	180	スケルトンの完成・上下階チェック
D3	平面図間仕切り下書き	215	エスキースを1/200にトレース
D4	平面図間仕切り仕上げ	260	縦線・横線を一気に描き入れ
D5	断面図	280	平面図との整合性注意
D6	外構文字入れ	320	最小限表現での完成をめざす
D7	アピール	330	注釈等のアピール
CHK	最終チェック	360	最終チェック+保険として30分

(注) 課題によって若干のステップ・目標時間の変更があります。

自己評価リスト：自己評価を A~C で評価枠上部に入れてください。

NO	項目	自己評価 / 弊社評価	チェック内容
1	図面印象		読みやすさ、線の意味とメリハリ 描き込み(必要なことが過不足なく) 文字、答案としての丁寧さ、アピール
2	アプローチ		メイン・サブ、その他広場等アプローチ 歩車分離、自動車、自転車 敷地・建物への記号、ルート、表現
3	寸法・面積		寸法(数字の読みやすさ、寸法線、留め) 面積表(計算式、合計、建ぺい率、容積率)、面積上下限
4	外部空間		広場(面積、形状、配置) 屋上庭園(面積、形状、位置) 駐車場(台数、表記)、駐輪場(台数、表記)、 その他外構、設備関連他
5	スケルトン		建築物外形、共用部形状及び豊かさ 動線、ゾーニング、 コア配置、大空間位置、スケルトン、本館との接続
6	プラン印象		大空間(扱い方、表記)、コア(階段数他) 共用部形状、室並べ方、構造
7	要求諸室		要求室面積過不足、要求室形状(1:2)、 動線特記抜け、造作特記抜け他
8	法規		防火区画(縦穴区画、面積区画)、外部区画、 2方向避難(2階、3階)、敷地内通路、採光、道路斜線 延焼ライン表現、BF法(階段、EV、その他)
9	構造		ラーメン構造、柱陸立ち、スパン、キャンチレバー、大空間 (PC、B梁、柱)、特定天井、Exp.J.表現、その他
10	断面図		表記(構造、基礎、室名、寸法、天井高さ、階高さ、 最高高さ、屋上、設備、パッシブ関連アピール) 平断不一致、切断位置
11	設備・PS関連		PS、空調用PS、EPS、DS 空調機械室、受水槽室、キュービクル、ドライエリア、他
12	計画の要点		図面との整合性、日本語、建築計画、構造計画、設備計 画、環境負荷低減、防災対策、セキュリティ他
13	他・失格		面積アウト、図面不一致、法規(単体規定・集団規定)、 室欠落他
総合評価			↑自己評価を書き入れてください! ランクとの関連A,A-=1,B+,B-=2,B-=3,C=4

<講評>

添削リスト：講師の方で書き込みます。

NO	減点	コード	内容
1	大-中-小		
2	大-中-小		
3	大-中-小		
4	大-中-小		
5	大-中-小		
6	大-中-小		
7	大-中-小		
8	大-中-小		
9	大-中-小		
10	大-中-小		
11	大-中-小		
12	大-中-小		
13	大-中-小		
14	大-中-小		
15	大-中-小		
16	大-中-小		
17	大-中-小		
18	大-中-小		
19	大-中-小		
20	大-中-小		
21	大-中-小		
22	大-中-小		
23	大-中-小		
24	大-中-小		
25	大-中-小		
添削 コード	D	Drawing	図面印象 線・文字・表現
	A	Approch	アプ・歩車・利用者管理サービス
	E	Exterior	外部空間 駐車駐輪・広場、外構
	C	Calc	面積計算
	Z	Zoning	動線・コア位置・ゾーニング
	P	Planning	プラン印象・廊下形状・室形状
V	Void	吹抜大空間 位置・機能	
R	Room	要求諸室 室面積・造作	
L	Law	建築法規 集団規定・単体規定	
S	Structure	建築構造 ラーメン	
T	secTion	断面表現	
Q	eEquipment	建築設備 電気・空調・給排水	
N	Note	計画要点	
X	eXplode	失格系	

課題：op/ 1 / 2 / 3 / 4 / 模試 他

ID：20-

ハンドルネーム

<評価>